

第2次 熊本市食の安全安心・食育推進計画 成果指標【食育】

第1次計画の基本的施策や方向性を「継続」とともに、さらに必要と思われる事項を追加・強化
 ○「周知」から「実践」へ 体験をととした 行動に結びつく取り組みを重視
 ○生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進
 ○住みなれた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくりのための食育を重視

■1次計画 成果指標

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

1) 家庭における食育の推進

①	食事のとき「楽しい」と感じる市民の割合
②	1週間あたりの朝食の欠食率
③	食育に関する活動や行動をしている市民の割合
④	「内臓脂肪症候群」を認知している市民の割合
⑤	肥満度20%以上の児童の割合

2) 学校・保育所等における食育の推進

⑥	保育所における食育に関する計画の策定割合
⑦	幼稚園における食育に関する計画の策定割合
⑧	小・中学校における食育に関する計画の策定割合

3) 家庭・学校・地域等が連携した食育の推進

⑨	親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合
---	-------------------------------

II 健全な食生活を実践するための環境整備

1) 日本型食生活の実践に向けた情報の発信

⑩	食事バランスガイドを参考にした食生活を実践する市民の割合
⑪	日本型食生活を実践している市民の割合
⑫	食育に関する活動や行動をしている市民の割合

2) 食生活改善をサポートする人材の育成

⑬	食育推進に関するボランティア数
---	-----------------

3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進

⑭	飲食店で栄養成分表示を見たことがある市民の割合
---	-------------------------

III 市民運動としての食育の推進

1) 市民協働によるくまもと食育市民運動の展開

⑮	食育に関心がある市民の割合
⑯	食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合

2) 食育支援団体のネットワーク整備

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

1) 生産者と消費者の交流

⑰	生産者と消費者が近く交流しやすいと感じている市民の割合
⑱	学校農園や休耕田等を活用した栽培活動を実施している小・中学校の割合
《準じる指標》	
	田植え等のイベントに参加したことがある市民の割合

2) 地産地消の促進

⑲	「地産地消」を認知している市民の割合
⑳	学校給食における地元産物を使用する割合

3) くまもとの食文化の伝承

㉑	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合
---	---------------------------

4) 食育を通じた環境保全

㉒	市民1人1日当たりのごみ排出量
㉓	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合
㉔	バイオマスを知っている市民の割合
㉕	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合

■2次計画 成果指標(案)

		(H24年度)	(H30年度)	
①	食育に関心がある市民の割合 ★	73.4%	90%	
②	「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加」 ★	11回	現状維持	
③	1週間あたりの朝食について ★ ・幼児は「毎日食べる割合」 ・他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	95.3%	100%
		小学5年生	※ 0.9%	0%
		中学2年生	※ 2.0%	0%
		20代男性	29.4%	15%
		30代男性	29.4%	15%
		65歳以上	3.7%	0%
④	体験型食育活動の取り組み(実施園数/全施設数) 【保育園】	公立保育園 100%	現状維持	
	私立保育園 90.40%			
⑤	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	48.5%	60%	
⑥	私立幼稚園協会にて検討中			
3) 職場等における食育の推進				
⑦	企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)	集計中		
⑧	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合(15歳以上)	69.0%	80%	
⑨	内臓脂肪症候群の予防や改善のために適切な食事、定期的な運動、定期的な体重測定を継続的に実践している市民の割合 ★	27.7%	50%	
⑩	食育の推進に関するボランティア数 ★	1,208人	1,600人	
⑪	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合(15歳以上)【再掲】	69.0%	80%	
⑫	食育に関心がある市民の割合【再掲】 ★	73.4%	90%	
⑬	食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合	52.9%	65%	
⑭	熊本市子どもの食育ネットワークにおける連携活動した団体等の割合	集計中		
⑮	農林漁業体験を経験した市民の割合の増加 ★	37.7%	50%	
⑯	進んで地元農産物を購入する市民の割合(15歳以上)	15.3%	20%	
⑰	学校給食における地元農産物を使用する品目数 ★	39品目	45品目	
⑱	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	49.2%	70%	
⑲	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	69.9%	75%	
⑳	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.9%	85%	

★については、国の第2次食育推進基本計画の指標

2次⑬と合体

2次⑩と合体

成果指標①へ

準じる指標へ